

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちが他者とのつながりや自然環境、郷土、社会との関わりの中で、命を大切にする心や思いやりの心、感動する心、公共心、規範意識、人間関係を築く力などの豊かな心を持った人として育つとともに、郷土を愛し、自信を持って語り、郷土三重を担う力を身につけています。

平成 31 年度末での到達目標

道徳教育や郷土教育等を充実することにより、子どもたちが、命を大切にする心や思いやりの心、感動する心、公共心、規範意識などの豊かな心を持つとともに、郷土についての理解を深め、郷土への愛着を深めています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
自分には、よいところがあると思う子どもたちの割合		小学生 76.5%	小学生 78.0%		小学生 79.5%	小学生 81.0%
		中学生 70.8%	中学生 72.2%		中学生 73.6%	中学生 75.0%
	小学生 75.1%	小学生 75.5%				
	中学生 69.4%	中学生 71.3%				
目標項目の説明と平成 30 年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合					
30 年度目標値の考え方	小中学校ともに、平成 31 年度の目標値を達成するために、段階的に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22201 道徳教育の推進 (教育委員会)	人の役に立ちたいと思う子どもたちの割合		小学生 94.1%	小学生 94.5%		小学生 94.7%	小学生 95.0%
			中学生 94.4%	中学生 94.6%		中学生 94.8%	中学生 95.0%
		小学生 93.7%	小学生 94.5%				
		中学生 94.1%	中学生 93.0%				
22202 郷土教育の推進 (教育委員会)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる子どもたちの割合		小学生 46.4%	小学生 51.6%		小学生 56.8%	小学生 62.0%
			中学生 35.0%	中学生 40.0%		中学生 45.0%	中学生 50.0%
		小学生 41.3%	小学生 69.3%				
		中学生 30.0%	中学生 61.0%				

基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22203 読書活動・文化芸術活動の推進 (教育委員会)	授業時間以外に読書をする子どもたちの割合		小学校 62.3% 中学校 50.2%	小学校 63.5% 中学校 51.8%		小学校 64.7% 中学校 53.4%	小学校 66.0% 中学校 55.0%
		小学校 61.1% 中学校 48.6%	小学生 62.4% 中学生 46.4%				

現状と課題

- ①近年、深刻ないじめやネットでの誹謗中傷、生命を軽視する事件が発生しており、命を大切にす教育や規範意識の醸成が求められています。平成29年7月には教職員と保護者等が子どもの変化に気づき、学校や家庭において自己肯定感を育む取組が進められるよう「命を大切にす教育フォーラム」を開催しました。また、道徳の教科化をふまえ、物事を多面的・多角的にとらえ、自らの生き方についての考えを深める道徳教育を進める必要があります。
- ②子どもたちが豊かな心を持ち、郷土を知り、郷土を愛し、三重県について自信をもって語ることができるよう、各学校では地域の自然、歴史、文化などを学ぶ取組を進めています。今後、子どもたちが地域の一員として、身近な地域や社会の課題に関心をもつとともに、郷土三重を担う力を身につける取組を進める必要があります。
- ③子どもたちの豊かな人間性を養い、創造力を育むため、読書習慣の定着に取り組むことが大切です。しかし、小学校から中学校、高等学校と進むにつれ、読書離れが進む傾向にあるため、子どもたちが読書に親しむ機会の拡充や読書の楽しさの周知を図ることが必要です。
- ④子どもたちの豊かな感性・情操等を育み、次代の文化の担い手を育成するため、本物の文化芸術にふれる機会の創出、全国高等学校総合文化祭等の県外大会での成果発表や参加者の相互交流を進める必要があります。

平成30年度の取組方向

- ①新学習指導要領をふまえ道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、道徳教育アドバイザーを派遣し、学校の教育活動全体で行う道徳教育および道徳科の授業の課題に対応した指導・助言を行うとともに、公開授業などにより成果を普及することで道徳教育の充実を図ります。
- ②地域や学校の課題の解決に向けた内容等を発信する「中学生からの提案・発信」への参加校を拡大させるなどして、郷土への愛着や誇りを持ち、三重について発信できる子どもの育成を進めます。
- ③学校、図書館、市町、企業等と連携し、同世代の子ども同士で本を紹介しあう取組や読書ボランティア等の活動促進の取組により、家庭や地域における子どもの読書活動を推進します。
- ④平成30年7月、8月に開催される全国高等学校総合文化祭（長野大会）、10月に開催するみえ高文祭および11月に開催される近畿高等学校総合文化祭（徳島大会）への出演・出展を支援し、生徒の技術力、創造力を高めるとともに、他県の生徒と交流を深めることにより、さらなる芸術文化活動の向上を図ります。

主な事業

- ①（一部新）道徳教育総合支援事業【基本事業名：22201 道徳教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 5,995千円 → (30) 8,132千円
事業概要：新学習指導要領をふまえ、「考え、議論する道徳」を学校全体で進めるため、道徳教育アドバイザーを派遣し、道徳教育および道徳科の授業の課題に対応した指導・助言を行うことで、子どもたちの道徳性を高めます。また、三重県道徳教育推進会議を開催し、道徳の教科化をふまえた道徳教育の効果的な指導方法などについて研修を行います。
- ②「ふるさと三重」郷土教育推進事業【基本事業名：22202 郷土教育の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 298千円 → (30) 293千円
事業概要：中学生が学校や地域の課題について、解決する方策を提案する「中学生からの提案・発信」の実施により、子どもたちが地域の一員として郷土三重を担う力を育てます。
- ③子どもと本をつなぐ環境整備促進事業【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】
（第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費）
予算額：(29) 1,032千円 → (30) 469千円
事業概要：三重県子ども読書活動推進会議を開催するとともに、読書ボランティア等を対象とした研修や家庭を対象とした読書活動の啓発を行うことにより、家庭や地域における子どもの読書活動を推進します。
- ④学力向上のための高校生ビブリオバトル推進事業
【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】
（第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費）
予算額：(29) 562千円 → (30) 526千円
事業概要：高校生を対象にビブリオバトル（書評合戦）を開催し、高校生の読書活動を推進します。
また、小中学校においてもデモンストレーションを実施するなどビブリオバトルの普及を図り、小中学生の読書活動を推進します。
- ⑤高校芸術文化祭費【基本事業名：22203 読書活動・文化芸術活動の推進】
（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費）
予算額：(29) 5,336千円 → (30) 5,216千円
事業概要：音楽、美術、演劇など高校生の芸術文化の技術と創造力を磨き、芸術文化活動の活性化を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成するため、みえ高文祭を開催し、全国高等学校総合文化祭等に生徒を派遣します。